



王桜中だより

第9号 令和5年12月

北区立王子桜中学校
校長 吉原 健

中学生の力



校長 吉原 健

11月は校内や地域での王桜中生の行動でうれしいことがいくつかありました。ある日の朝に私が3年生の学年フロアを歩いていると、教室の中で動く人影を見ました。こんな朝早い時間に誰だろう…と思ってよく見ると、3年生女子生徒がほうきを手に黙々と一人で掃除しているのです。『えらいね！毎日そうしてるの？』と私が声をかけると、『はい…』とはにかみながら答えてくれました。誰に言われたのではなく、自分の日課にしているのでしょう。とてもさわやかな気持ちになると共に、「ボランティアとはかくあるべき…」とその生徒から教えてもらいました。[利他]という言葉がありますが、自分の利益のためではなく、クラスの仲間が気持ち良く一日をスタートすることができるよう…という気持ちは本当に素晴らしいです。

また別の日に本校の教員が他校で行われる研究授業を参観しに急いで出かけたところ、下校途中の3年生が近くの路上で具合の悪い方を介抱している所に出会いました。その生徒は機転を利かせてすぐに近くを通りかかった大人の方に携帯電話での119番通報をお願いし、救急隊の方もすぐに駆け付けてくださいました。おかげで具合の悪い方も無事に救護されました。その生徒の冷静な判断力と行動力にも感心しました。これまで中学校の学習や生活で学んだ経験やスキルを進んで生かそうとする姿にも感銘を受けました。

さらに先日は、本校の2年生数人が、部活の帰りに外出先で自分の家がよく分からなくなり困っていたおばあさんに出会い、丁寧にその方の話を聞いてあげた後、近くにあったさくらだこども園の職員の方に急いで知らせに行ったということがありました。ご家族も心配して探されていたそうですが、無事にご家族に連絡がつくまでその生徒たちはずっとおばあさんに付き添って待っていてくれました。おばあさんは『中学生の子たちが親切にしてくれてうれしい…、本当にありがたい…』と涙を流して感謝して下さったと聞きました。困っている人を助けるために自分たちに何ができるか考えて進んで行動する姿には頭が下がります。

中学生は周りの大人に守られたり、世話をされたりするだけの存在ではなく、地域の中でよりよくその潜在力を発揮できる存在であると思っています。こうした経験がやがて中学生が地域に愛着をもち、地域に貢献しようとする意識の涵養にもつながると信じています！



12月の行事予定

日	曜日	12月行事予定	日	曜日	12月行事予定
1	金	三者面談①午前授業 生徒下校 13:40	15	金	2年 EC 岩井1日目 私立高校入試相談始
2	土	土曜授業 2年防災学校	16	土	2年 EC 岩井2日目
4	月	生徒会朝礼 三者面談②午前授業	17	日	2年 EC 岩井3日目 英語スピーチコンテスト予備日
5	火	三者面談③ 午前授業	18	月	2年振替休業日
6	水	三者面談④ 午前授業	19	火	2年振替休業日
7	木	三者面談⑤ 午前授業 避難訓練	20	水	王子桜中サブファミリー研修
8	金	三者面談⑥ 午前授業	25	月	全校集会 清掃活動 定時退勤日
11	月	全校朝礼・安全指導 専門委員会	26	火	冬季休業日始
12	火	3年薬物乱用防止教室	28	木	学校閉庁日
13	水	職員会議 部活動再登校 16:00			
14	木	2年 EC 岩井前日指導	1/9	火	授業開始・安全指導 全校集会



「それいいね！週間」



先月本校第2学年では「それいいね！週間」に取り組みました。この取組は、価値観の合わない人の“苦手なところ”ばかりを見るのではなく、その人の“いいところ”を見つけていくと、苦手だと思って接するよりも、自分も相手も良い関係でいられるのでは…という学年の教員の思いを受け、学級委員の生徒たちでも話し合っ始めて始めたものです。

毎日、クラスや委員会、部活動などで周りの人から受けたさりげない優しさや、ありがたかったこと、いいなあ…と思ったことなどを「それいいね！ Episode」に書き込んでいきます。

今の社会はどちらかというと他人の欠点や失敗を攻撃したり、差別化を図る風潮が強くなっていると感じます。他人に対する思いやりやリスペクトする心が希薄になっているのです。今の子どもたちの姿もこうした大人社会のあり方を反映している面はないでしょうか？

生徒一人一人の自己肯定感や自己有用感を高める取組を、学校教育を通じて意図的・計画的に継続していくことがもっと必要だと感じています。これは、ただ教師が子どもを褒めればよいのではなく、「自分が誰かの役に立った…」 「自分が誰かに必要とされた…」 「自分が誰かの助けになった…」 という経験を増やしてあげることが大切だと考えています。授業や学校行事、委員会や部活動など学校生活のあらゆる場面でこうした経験を意図的に仕組んでいく、そして最後は子どもがあたかも自分の力でやり切ったと感じられるようにしたいです。

中学生による地域貢献



11月18日(土)に北区をホームタウンとする3人制バスケットボールのプロチームによる初めてのイベントが飛鳥山公園で行われました。これは飛鳥山公園150周年プロジェクトの一環として企画されたものです。このチームは、北区出身で元特別支援学校教員でもあるオーナーの『障がいのある方々の社会参画や交流の場を増やしたい』という思いから2022年に設立され、[北区にさらなる活力と賑わいを創出する]ことを目標としています。

この企画に王子桜中の映像研究部がパフォーマンスコンテンツ協力団体として参加し、部員の生徒たちがInstagramのPR動画を制作しました。当日も部員たちがイベントのお手伝いとして参加し、飛鳥山公園を訪れた人にイベントのパンフレットを配ったり、3×3バスケのイベントマッチの様子を動画に撮影したり、とても活躍していました！

本校では、様々な文化部が王子東児童館と交流したり、地域の祭礼やイベントのお手伝いに多くの有志生徒が参加したり、北区NPO・ボランティアぶらざを通して地域の子どもの食堂に、屋上菜園で採れた食材を提供させていただくなど、中学生の力を積極的に地域に役立てています。このような中学生による地域貢献の機会をこれからも大切にしていきたいと思えます！

お知らせ

○剣道部 第71回区民体育大会 剣道競技

中学3年男子の部 優勝:3-3T.Mさん, 2位:3-4O.Kさん, 3位:3-2K.Kさん

中学2年男子の部 3位:2-4O.Yさん 中学1年男子の部 2位:1-3T.Iさん

○令和5年度薬物乱用防止推進事業

標語の部 王子地区特別賞 2-4K.Yさん

ポスターの部 王子地区特別賞 2-4T.Kさん

○令和5年度税についての作文

都税事務所長賞 3-3T.Mさん

○第38回小・中学生主張体験発表会(北区青少年東十条地区委員会主催)

発表者 2-1O.Tさん 演題「愛の形」

発表者 2-1K.Kさん 演題「人間関係の自由」

○令和5年度北区連合学芸会 優秀賞 北区立王子桜中学校演劇部「ガマの中で」

個人賞 [優秀演技賞] 2-3H.Mさん, 2-1M.Rさん, 1-3T.Tさん

英語スピーチの部 優秀賞 3-5H.Nさん

